

PC トーク&トーク

税理士事務所のIT化 …とひそむ課題

東京 関本 俊子



インターネット

今や、事務所に居ながらにして内容証明を送ったり、全国のコンピュータ化された登記所の商業・法人登記情報（全部事項）及び不動産登記情報（全部事項又は所有者事項）を閲覧することができる時代である。インターネットの普及により、刻々と改正されたり更新される情報を、いち早く手に入れることが出来、PCなしでは日常業務が滞ることさえあるのが現状だ。一昨年までは、分厚くコストのかかる路線図を毎年購入していたが、国税庁のHPで3年分はいつでも綺麗にプリントアウトが可能であり、政府刊行物センターまで行って統計資料等を購入しなくても国税庁や総務省が発表している統計情報を調べたり、必要な部分だけ加工することもできるようになった。内閣府や財務省、各省庁のHPへアクセスすれば、発表、公表された資料はリアルタイムで見ることができる。

★わたしの「お気に入り」～よく利用する便利なページ

- 国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp/>
- Yahoo!ファイナンス <http://quote.yahoo.co.jp/>
- 法令・ビジネス文書ダウンロードサービス（有料）
- 官報 <http://www.tokyo-kansho.co.jp/index.html>
- インターネットバンキング
- その他 旅行、価格.com、天気、生協の注文…etc.

会計処理

当事務所で使用しているJ社のPCも、Windowsとの互換性をもたせたことと、マシンがハイスペックに進化したことによって、会計データを処理をしながら、申告書作成、減価償却、勘定科目内訳などを同時に起動させ、なおかつエクセルやインターネットでの検索などの作業をマルチに処理することが可能である。関与先の要求にも、データの置き換え機能や検索機能によって瞬時に対応することが出来、面倒な消費税の計算や本支店会計、関連会社が絡んだ（数年前までだったら申告期限まで、到底間に合わなかったであろう）難しい決算であっても処理出来てしまう。繁忙時にはコンピュータの能力の高さに脱帽である。

今後の課題

先日、ある大学の教授にこんな話をお聞きした。「最近の学生のレポートは、ほとんどがワープロで全く個性が無く、そもそも読む気がしない。希に、おっ！これは中々よく書けている、と思いながら読み進めると、途中から突然論調が変わり、おかしいぞ？と思ったらインターネットで何処からか拾ってきた論文をコピーして貼り付け、継ぎはぎしてただけだった。真面目に勉強している学生が、なんだか馬鹿馬鹿しくなってくると嘆いている。」というのが現状だそうである。なるほど、確かに身に覚えがある。

これだけあらゆることが、キーワードを絞り込んでいくだけでヒットし簡単に手に入れることができると、自分で考えたり調べたりする能力が衰え、情報に振り回され、判断能力を喪失してしまうのではないかという危機感さえ感じてしまう。溢れる情報の取捨選択、その情報を分析し、最大限活用して使いこなす能力が今後要求される。安価で高品質なソフトが氾濫し、電子申告が始まる時代、税理士の将来は決して甘くはない。PCの技術だけに長けていても、それは会計コンビニ化するだけで、今後生き残っていけるのは、納税者の権利を守り、徴税権力と対峙できる信頼できる税理士だけになるであろう。

危機管理

セキュリティばかりを気にしていると、金縛り状態に陥ってしまう。当事務所では、ファイアウォール、ウイルス駆除ソフトのリアルタイムなアップデート、プロバイダによるウイルスメールチェックサービス、Windowsはマイクロソフトからのアップデート等の利用で、ウイルスやハッカーからの被害を最小限に食い止める他、万が一に備え、ストレージサービスのバックアップで万全の態勢を整えている。しかし、天敵は雷…！ピカッと光ったらPCの電源を落とし、モジュラーから電話線を抜くことをお忘れなく。